

## 令和4年度 緑の募金

### 募金運動期間

春期 令和4年3月25日（金）～ 5月31日（火）

秋期 令和4年9月 1日（木）～ 10月31日（月）

### 皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンとして、緑の募金運動を進めています。皆様から寄せられた募金は、地域・学校などの身近な緑化の推進、次世代を担っていくみどりの少年団の育成等に有効に活用させていただいています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくり、次世代へ引き継いでいくため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。

### 令和4年度緑の募金の結果

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭募金は中止しました。学校募金、家庭募金、企業募金、職場募金、その他募金で合計2,025万円（11月30日現在）となり、対前年比95.9%となりました。

新型コロナウイルスの早い収束を祈ります。

ご協力いただいた緑の募金は、外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、皆様方の地域環境の改善等に役立たせていただきました。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 緑の募金を通じてSDGsに貢献できます。

例えば



## 第66回鳥取県植樹祭の開催

令和4年10月22日（土）鳥取県、日野町及び当委員会の主催により、日野町中菅の滝山公園において「雲海と 緑はぐくむ おしどりの里」を大会テーマとして第66回鳥取県植樹祭が開催されました。

10時からの式典では、オープニングアトラクションとして鳥取県立日野高等学校郷土芸能部「荒神神楽（八重垣能）」が披露され、参加者から盛大な拍手が送られました。

続いて開会が宣言され、みどりの少年団の皆さんの元気な入場行進とみどりの少年団の紹介、主催者挨拶、来賓紹介の後、令和3年度鳥取県美しい森づくり功労者表彰とテーマ表彰があり、第66回鳥取県植樹祭テーマ最優秀賞に米子市在住の前野 洋一さん、同優秀賞に鳥取市在住の橋本 和夫さんの「おしどりの里 夢の懸け橋 森林（もり）作り」が受賞されました。

森林・みどりへの想い発表として、日野町立根雨小学校みどりの少年団と、日野町椎茸生産組合長 廣瀬 俊介さんの発表が行われました。

その後、代表者記念植樹が行われましたが、今回の代表植樹は日野郡内4小学校の子どもたちが地域由来の苗木（ミツバツツジ）を小学校で育成し、今回この植樹祭で植樹されました。



11時からは一般参加者植樹を行い、たくさんの方にミツバツツジ、ソメイヨシノ、エドヒガンを植えていただきました。

昼食時にはアトラクションとして、黒坂小学校児童のかき踊りと日野町民ミュージカルが披露されました。

当委員会では地域の緑化を推進するためとして、ミツバツツジの苗木250本を用意し、多くの方にお配りしました。

昨年の鳥取県植樹祭は、新型コロナウイルス感染症の拡大により延期となり、2年ぶりの開催が天候にも恵まれ、にぎやかな鳥取県植樹祭となりました。



## ■緑の募金交付金事業（鳥取県緑化推進委員会鳥取市支部の活動）

福部まちづくり協議会では、緑の募金事業の交付金を活用して福部を活性化できることは何かないかと模索の日々が続き、ふと頭をよぎったのがガーデニングで素焼きの植木鉢を組み立てて作る『テラコッタ人形』でした。

鳥取県の東部で『案山子（かかし）』を使った町おこしをしている地域があるように、福部町でも、これに追随するような目玉的なものとして、町内各所に設置した特徴のあるテラコッタ人形を訪ね歩くことで緑化の推進と健康づくりに繋がり、福部地域活性化の一役を担ってほしいという願いも込めてスタートしました。



福部まちづくり協議会・地区公民館が連

携し、先ず小さい試作品作りのための人集めをするところから始まり、町内で不要になった植木鉢の提供を呼びかけて、試行錯誤の中でテラコッタ人形作りの当日を迎えました。

元はシンプルな素焼きの鉢でしたが、人形の頭のところに「ノースポール」や「金魚草」、「ナデシコ」等のカラフルな花の植付けが終わると、個性豊かな可愛いテラコッタ人形達ができあがり、達成感と喜びでボランティアの皆さんから歓声があがりました。

植栽後のテラコッタ人形は福部未来学園などの町内の公共施設4か所に配していますが、実際に見た方の評判も良く、可愛い手作りのテラコッタが各施設を訪れる人を出迎えています。



## 学校環境緑化モデル事業完成式

子どもたちに環境教育と憩いの場が完成しました。

10月18日（火）、岩美町立岩美西小学校（山口 暁美校長）、11月10日（木）倉吉市立社小学校（池口 靖校長）で学校環境緑化モデル事業の完成式典が行われました。

この学校環境緑化モデル事業は、「ローソン緑の募金」を財源とした助成事業で、各県の緑化推進委員会を通じて全国77の小中学校に助成されたものです。

令和4年度、鳥取県内ではこの2校が助成決定を受け事業に取り組み、このほど事業が完成し、式典が行われました。

岩美西小学校は、校内にある子どもの森のアカマツ、クスノキ、マテバシイなどの剪定や伐採をし、子どもたちがケガの心配もなく元気に遊びまわれるようになりました。また、式典では3年生児童による和太鼓が披露されました。

社小学校は創立148年の歴史ある緑豊かな学校で、校舎前庭にあるサクラ、モミジ、コウヤマキなどの剪定をし、学校が明るくなり、気持ちよく過ごせるようになりました。

児童・生徒の皆さんには、緑化運動への参加意欲を高めるとともに、緑の募金が身近な所で役立っていることがわかってもらえることを期待しています。



岩美町立岩美西小学校完成式典



倉吉市立社小学校完成式典

## ■木工工作キット配布事業

次代を担う県内の小・中学校を対象に、県産材を使用した木工工作キット及び木工作品制作用木材を提供し、木の良さを啓発することで、県産材の利用拡大に取り組んでいます。

毎年たくさんの小・中学校から申し込みがあり、木の良さやぬくもり、香りを感じてもらえました。一部を紹介します。(鳥取市立城北小学校・南部町立会見第二小学校)



(感想)

- ・釘打ちが難しかったけど、友達に手伝ってもらいながら作ることができました。
- ・釘打ちは、まっすぐ打てなくてすこし難しかったです。
- ・本を置くスペースが増えてうれしいので、早く持ち帰って使いたいです。
- ・やすりで削っている時に、粉が出ておもしろかった。
- ・色や模様をつけてもいいかなと思ったので、またしたい。

## ■緑の募金贈呈式

12月14日、株式会社新日本海新聞社様から「緑の募金」へのご寄付があり、県議会議長室に於いて、地域プロデュース局長 遠藤 一郎様より当委員会 内田 博長理事長(県議会議長)へ贈呈していただきました。



ご寄付頂きました「緑の募金」は、本県の緑化推進のため有効に活用させていただきます。

## 「一株植樹」運動に参加しませんか。

樹木には、四季折々の表情があり、私たちの暮らしに潤いを与えてくれます。また二酸化炭素を吸収し、土壌を豊かにし、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現に貢献します。

「一株植樹」運動は、毎年実施している緑化推進運動の一つです。苗木生産者の協力を得て優良な苗木を格安に提供いたします。

緑豊かな郷土とするため、この運動に多くの方が参加され、緑を育てていただきますようお願いいたします。

まず身近な家庭の緑化から始めませんか。

ホームページ

協力 鳥取県山林樹苗協同組合・北栄グリーン

期間：1月～2月

苗木の引渡し：3月上旬にお渡しします。苗木の配布日・配達場所については各市町村役場でご確認ください。

### 会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

### お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220  
鳥取県農林水産部森林・林業振興局内  
公益社団法人鳥取県緑化推進委員会  
電話：0857-26-7416  
FAX：0857-26-8192  
URL：http://www.tottori-green.or.jp

